

情報セキュリティ

情報科学の世界II

2018年度

只木 進一 (理工学部)

セキュリティは他人事ではない

- ▶ 個人情報の漏えい
 - ▶ 民間企業の顧客情報の漏えい
 - ▶ 公的機関からの個人情報漏えい
 - ▶ 特定個人情報：マイナンバー
- ▶ 信用してアクセスしたサービス
 - ▶ 乗っ取られていて、不正プログラムを押し込まれる

セキュリティは他人事ではない

- ▶ 個人のPCやスマートフォンからの情報漏えい
 - ▶ 自分の情報だけでなく、他人の情報
- ▶ 様々なサービスのID
 - ▶ 乗っ取り、なりすまし
- ▶ 自分のデバイスが、攻撃の足場に使われる

情報セキュリティ10大脅威2018

順位	個人	組織
1	インターネットバンキングやクレジットカード情報の不正利用	標的型攻撃による情報流出
2	ランサムウェアによる被害	ランサムウェアによる被害
3	ネット上の誹謗・中傷	ビジネスメール詐欺
4	スマートフォンやスマートフォンアプリを狙った攻撃の可能性	脆弱性対策情報の公開に伴い公知となる脆弱性の悪用増加
5	ウェブサービスからの個人情報の窃取	情報セキュリティ人材の不足

個人情報漏洩事案

- ▶ 2017/6/20 佐賀銀行
 - ▶ 行員が窃盗。共犯者へ大口顧客情報(169人)を漏えい
- ▶ 2016 佐賀県教育委員会
 - ▶ 1万人の生徒の住所、氏名、電話番号、成績など
 - ▶ 県内の少年、高校生が関与
- ▶ 2015/5/28 日本年金機構
 - ▶ 標的型攻撃
 - ▶ 150万件以上の個人情報漏えい

▶ 2014/7/9 ベネッセ

- ▶ 760万件の顧客情報を漏洩
- ▶ 子供と保護者の氏名、住所、生年月日など
- ▶ システムを委託していた系列会社へ派遣されていた社員が持ち出し

▶ 2014/4/18 東京医科大学

- ▶ 脳神経外科手術 33例
- ▶ 氏名、性別、生年月日、検査データ
- ▶ 職員がUSBで持ち出し、紛失

▶ 2011/4/21 ソニー

- ▶ Play Station Networkの顧客情報7700万件流出
- ▶ 住所、ログインID、パスワード、購入履歴など
- ▶ サーバーの脆弱性を突かれ、不正アクセスを受ける

個人情報・プライバシーとその管理

- ▶ **個人情報**：生存している個人を特定する情報
 - ▶ 氏名や住所は重要な要素だが、それだけではない
 - ▶ 個人の属性から特定できる場合がある
 - ▶ 職業、出身大学、電話番号などの組み合わせ

▶ プライバシー

▶ 以下の三つの要件を満たす

- ▶ 個人の私的生活の事実
- ▶ 公知でないもの
- ▶ 公開を望まない

▶ 例えば

- ▶ どういう食べ物や服装の好みがあるか
- ▶ 病歴、服薬履歴

情報セキュリティの構成要素

- ▶ 機密性：confidentiality
 - ▶ 秘密であること
 - ▶ 制限された人だけが利用できる
- ▶ 完全性：integrity
 - ▶ 正式で正しいものであること
- ▶ 可用性：availability
 - ▶ 必要なときに利用できること

- ▶ 三つの要素のバランスが重要
 - ▶ 情報システムとしてのバランス
 - ▶ システムの目的に合致しているか
 - ▶ 情報システムの運用の観点
 - ▶ システムとして運用できるのか
 - ▶ 費用と効用の評価
- ▶ 公開情報にもセキュリティがある
- ▶ 情報システムは手段に過ぎない

情報セキュリティの対策

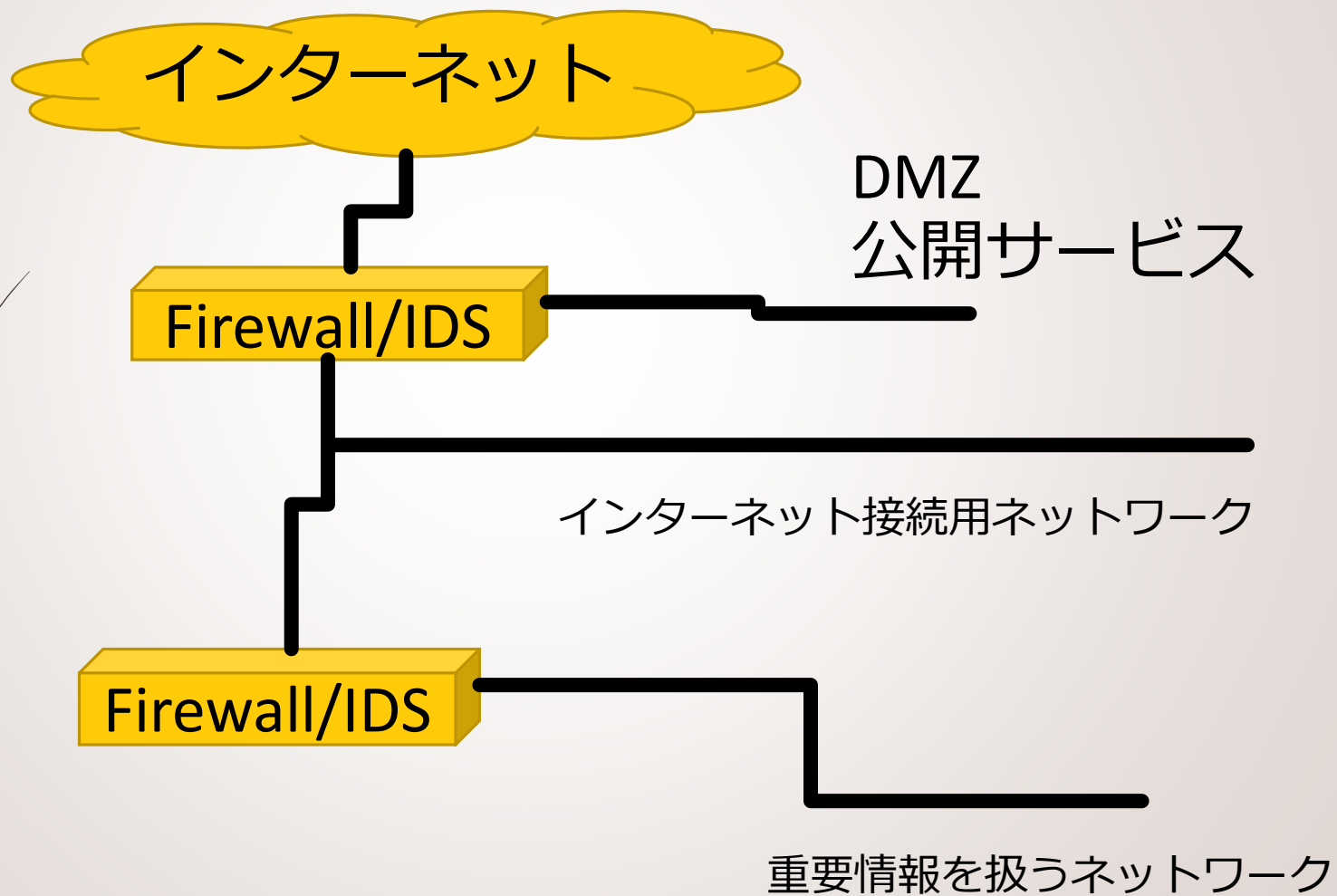
- ▶ 問題が発生しないための対策
 - ▶ 不正通信が起こらないように
 - ▶ ウィルスが入り込まないように
 - ▶ 不正侵入が起こらないように
- ▶ 問題の発生を想定した対策
 - ▶ 不正通信の確認と遮断の方法
 - ▶ 重要情報の暗号化
 - ▶ 重要情報の分散

- ▶ 問題が発生した後の対策
 - ▶ 緊急退避
 - ▶ 連絡・通報・責任体制
 - ▶ 影響範囲の迅速な確認方法
 - ▶ 適切な公表
- ▶ 問題の再発を防ぐ対策
 - ▶ 原因の究明と対策
 - ▶ リスクとコストの再評価

技術的対策：通信路の対策

- ▶ ネットワークの分離
 - ▶ 重要情報を持つネットワークを切り離す
- ▶ Firewall
 - ▶ 送受信元、サービスで通信を制限
- ▶ IDP(Intrusion Detection System)
 - ▶ 侵入の兆候を検知して遮断

ネットワークの構成例



技術的対策：ウィルス対策

▶ 通信路

- ▶ ウィルス付メールの遮断
- ▶ 不正なWebサイトへ誘導するメール遮断
- ▶ 不正な活動の検知と遮断

▶ クライアント

- ▶ ファイルのフィルタリング
- ▶ 不正な活動の検知と遮断

技術的対策：本人確認

- ▶ ユーザー名とパスワードによる認証
 - ▶ 多要素認証
 - ▶ 持っているもの：ICカードなど
 - ▶ 持っているものに一時的なパスワードを送信
 - ▶ 生体認証
 - ▶ 指紋、虹彩、静脈
 - ▶ 証跡管理

個人としての安全対策： Webの利用

- ▶ 重要情報をできるだけ送らない
 - ▶ 正しいサイトであることの確認：証明書
 - ▶ 暗号化
 - ▶ 本当に必要なのか
- ▶ 不正サイトからの攻撃を防ぐ
 - ▶ 不要なサイトへアクセスしない
 - ▶ 見ただけでウィルスダウンロードの危険性

個人としての安全対策： ウィルス対策

- ▶ ウィルス対策ソフトの導入
 - ▶ ウィルスパターンの更新
 - ▶ 定期的な全体スキャン
- ▶ 危険なメール
 - ▶ 知らない人からの「緊急」「重要」メール
 - ▶ 送信元のアドレスがおかしい
 - ▶ リンク先のアドレスがおかしい

個人としての安全対策： ID管理

▶ パスワードの管理

- ▶ 重要なサービスのパスワードを他のサービスと共有しない
- ▶ 他人に教えない
- ▶ 危ないと思ったら変更する

個人としての安全対策： データを失わない

- ▶ バックアップをする
 - ▶ CDやBD
 - ▶ USB接続のポータブルHD
 - ▶ クラウドストレージ